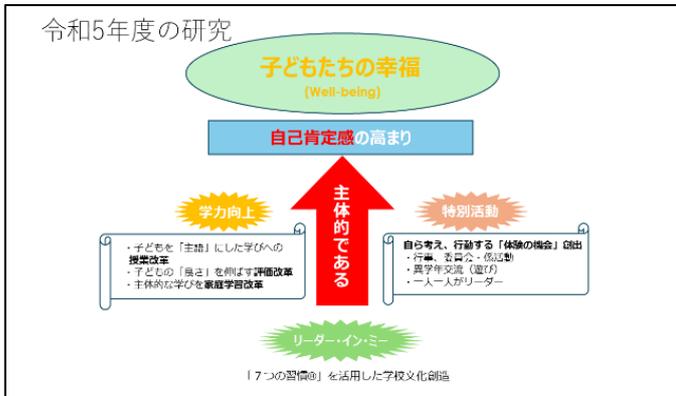


東京都墨田区教育委員会 R5年度「特色ある学校づくり」推進校、R6,7年度研究協力校

墨田区立第三吾嬬小学校の研究（令和5～7年度）「児童の主体性の育成」

【子供が『主語』になる学校づくり - 「主体性」とは何か？（R5年度）】



○学習、特別活動、「リーダー・イン・ミー」からの一体的アプローチ

○「主体性」についての校内研修

- ・「不親切教師のススメ」松尾英明先生（千葉県小学校教諭）
- ・「教えない授業」山本崇雄先生（横浜創英中・高副校長補佐）

・「7つの習慣」間宮歌子氏（フランクリン・コヴィー・E・J・インストラクター）

・「児童が主体となる授業」西留安雄先生（日本新たな学び方研究開発

ネットワーク代表）

○映画「みんなの学校」上映会 PTAと共同開催

《成果・R5年度の研究でわかったこと》

- ① 「主体性」＝「自己決定とその決定に責任を持つ態度」
- ② 「主体性」は「遊びに夢中になっている」姿や、「協働的な活動」の中に頻りに現れる。
- ③ 教師の新たな役割 「見取りと評価」

【子供が主体となる『学習時間』の創出 1年目(R6年度)】

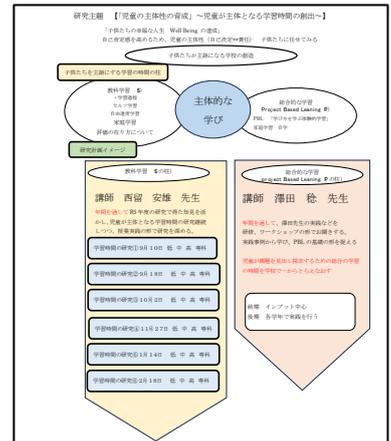
**S（教科学習）の取組**（専属講師：西留安雄先生）

- 三吾学習スタンダード（課題解決型学習過程）の作成、学習リーダー
- 環境整備（○マグ、掲示物作成、アイランド型座席配置等）

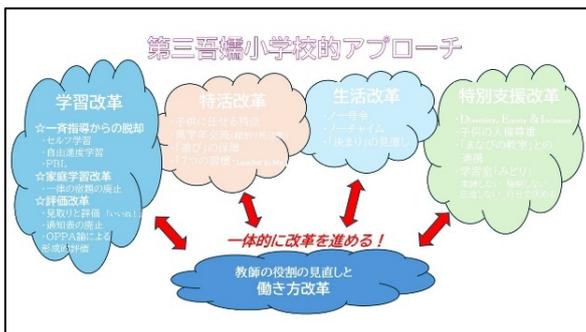
**P（探究的課題解決学習 PBL）の取組**（専属講師：澤田 稔教授）

- 子供を信じて任せる 「軸足を移す」 総合的な学習の時間、生活を中心に
- 「家庭学習改革」 一律の宿題を廃止、「自学のすすめ」の作成
- 「評価改革」 通知表の改訂、自己評価・形成的評価の重視

「学校教育用語の見直し」「授業」→「学習時間」「指導案」→「学習活動案」など



【子供が主体となる「学習時間」の創出 2年目(R7年度)】



**Sの取組**（専属講師：西留安雄先生）

- 学習リーダー、各種考察方法

**Pの取組**（講師：澤田稔教授）

- 本物のオーディエンス Exhibition ○複数の入り口 Multiple Entry Points

**OPPA論による評価改革**（講師：中島雅子教授） 通知表の廃止

**発達段階に応じた家庭学習 学び方指導**

令和8年2月10日 研究発表会 日本各地から258名が参加

○5校時 全学級学習時間公開 ○発表会・第1部「児童による発表『私たちにとっての主体性』」

○発表会・第3部 各講師による分科会

- ・西留安雄先生 「子どもが創る授業と校内研修」（日本新たな学び方研究開発ネットワーク代表）
- ・澤田 稔先生 「探究的な学びのための授業づくりへ」（上智大学総合人間科学部教授）
- ・中島雅子先生 「OPPAでできること - 第三吾嬬小学校の評価改革」（埼玉大学教育学部教授）

【成果と課題】

○児童：「学校が好き」80.7% 「自分たちで学習を進めている」87% 「協働的に学んでいる」88.5%

○学力：学力調査「思考力・判断力・表現力」が全国平均を大きく上回る学年が増加

△知識・技能の定着 △家庭学習の定着 △学校文化として子供主体を根付かせること

詳細・本校 HP 「研究発表会特設サイト」 <https://www.sumida.ed.jp/sanazumasho/shokai/TokusetsuSite.html>

